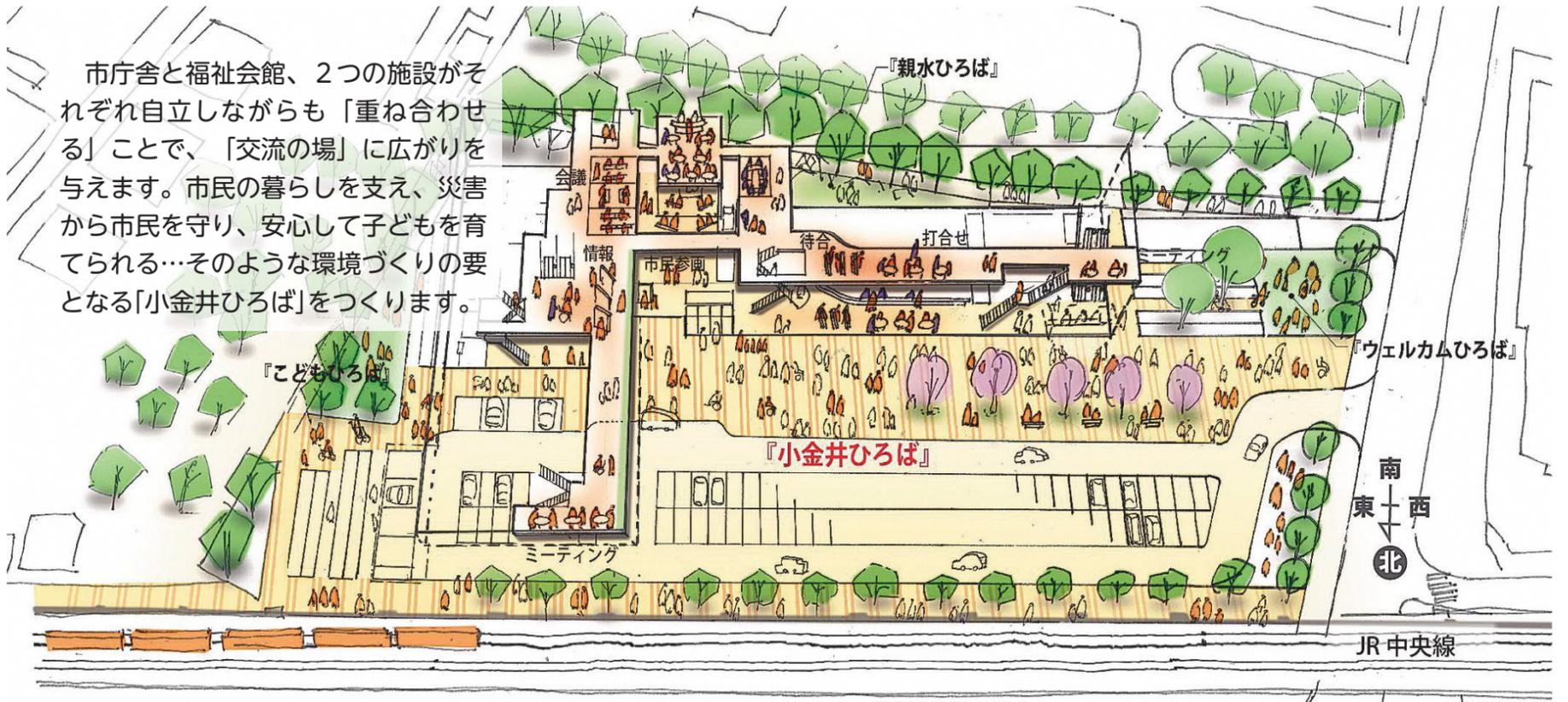


# 公募型プロポーザルにおける設計者の提案内容

※この内容はあくまで提案内容であり、内容は変更となる可能性があります

## 市庁舎と福祉会館を「重ね合わせ」みんなで「交流の場を」つくります



市庁舎と福祉会館、2つの施設がそれぞれ自立しながらも「重ね合わせる」ことで、「交流の場」に広がりを与えます。市民の暮らしを支え、災害から市民を守り、安心して子どもを育てられる…そのような環境づくりの要となる「小金井ひろば」をつくりま

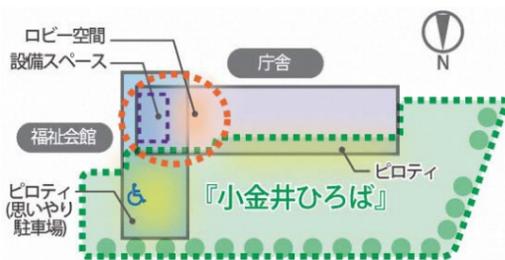
### 多世代・多目的な市民の活動や交流の拠点づくり「4つのポイント」

#### POINT1 「小金井ひろば」…将来ビジョンを踏まえた市民協働のまちづくり



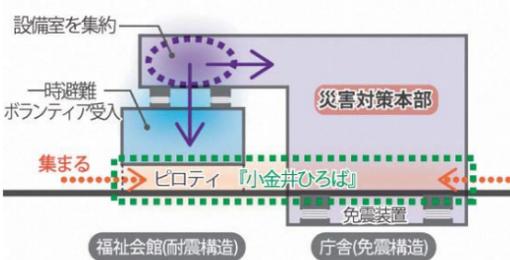
- ・豊かな緑を引き込み、市民の憩いの空間となる大きな広場をつくりま
- ・全方位から安全・快適にアクセスできます。
- ・武蔵小金井駅からの道の整備を促し、街へと広がる新しい人の流れを促します。

#### POINT2 「コンパクト」…“重ね合わせる”ことで複合化のメリットを活かす



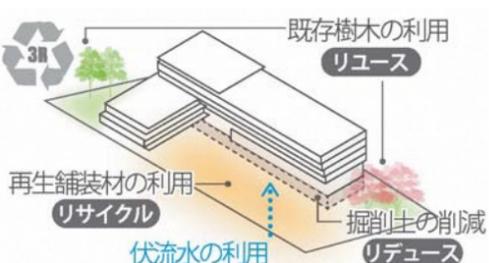
- ・庁舎・福祉会館共通のエントランスとします。
- ・マルチスペース（ロビー空間）、情報発信機能や会議室を共有します。
- ・設備スペースを集約配置します。

#### POINT3 「防災の拠点」…安心安全、頼りにされる<sup>よ</sup>拠り所



- ・免震庁舎にエネルギー系を集約し、地震時には機能維持が可能です。
- ・災害活動に有利な大きなひろば・福祉会館のピロティ空間を確保します。

#### POINT4 「循環型都市・小金井」…施設づくりそのものがシンボルとなる

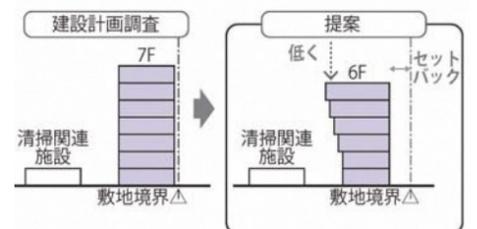


- ・“3R”の視点を持った設計手法
- ・産業廃棄物を出さない建材の選定、施工計画（リデュース）
- ・既存樹木や雨水、井水…今あるものを大切に利用（リユース）
- ・再生建材の積極的利用（リサイクル）

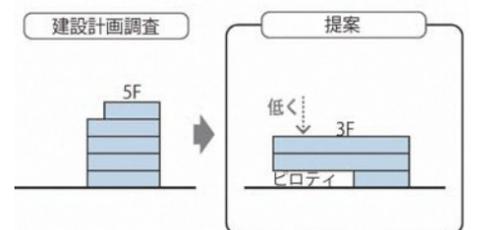
#### 【基本的な考え方】

- ・低層化による周辺住宅地への圧迫感の軽減
- ・階数減による共用面積の縮減、躯体量の縮減
- ・日常動線の短縮と災害時の避難時間短縮
- ・オープンスペースの最大化

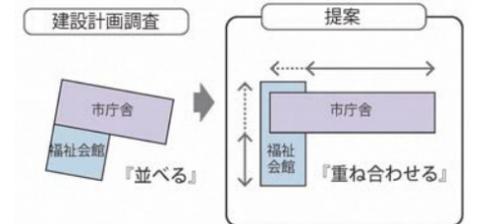
#### 市庁舎



#### 福祉会館



#### 配置計画



「重ね合わせる」ことで2つの施設の相乗効果が高まり、複合するメリットが大きくなります。